

【試合結果】

女子 決勝トーナメント		準決勝																
日時	2017年12月28日 (木)		9:00 ~															
会場	函館アリーナAコート																	
結果	札幌東月寒中 札幌	<table border="0"> <tr><td>9</td><td>—</td><td>7</td></tr> <tr><td>15</td><td>—</td><td>3</td></tr> <tr><td>16</td><td>—</td><td>9</td></tr> <tr><td>16</td><td>—</td><td>4</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	9	—	7	15	—	3	16	—	9	16	—	4		OT		札幌清田中 札幌
	9	—	7															
15	—	3																
16	—	9																
16	—	4																
	OT																	
	56	23																
審判	主審 小野裕樹		副審 川島貴裕															

第32回北海道中学校バスケットボール新人大会



【ボックススコア】

札幌東月寒中		札幌						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	満井 桃花	×	8	1	2	1	6	1
5	菊地 彩良	×	0	0	0	0	2	2
6	篠原 莉音	×	21	3	5	2	15	0
7	高橋 瑠奈	×	7	0	3	1	3	0
8	稲船 遥香	×	12	1	4	1	7	1
9	齊藤 彩華	DNP	0					
10	金丸 七海	/	4	0	1	2	1	2
11	荒川 璃子	/	2	0	0	2	0	1
12	岡 優芽	/	0	0	0	0	1	1
13	堤 彩乃	DNP	0					
14	松本 彩良	/	2	0	1	0	0	0
15	高橋 仁菜	/	0	0	0	0	1	1
16	0	DNP	0					
17								
18	0	DNP	0					
HC	高柳 裕一							
合計			56	5	16	9	36	9

札幌清田中		札幌						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	山賀 妃陽	×	2	0	1	0	7	2
5	新田 杏樹	×	5	0	1	3	3	0
6	山賀 陽由	×	0	0	0	0	9	0
7	太田 樹	×	0	0	0	0	0	5
8	秋田 唯	/	2	0	1	0	4	2
9	三由 瑠唯	×	7	1	2	0	5	2
10	花田 結衣	/	0	0	0	0	0	0
11	櫻田 楓香	DNP	0					
12	手塚 美羽	/	2	0	1	0	1	0
13	小林 滯奈	/	0	0	0	0	0	0
14	近藤 綾香	/	0	0	0	0	1	1
15	大井 美咲	/	5	1	1	0	1	0
16	佐藤 ひなた	/	0	0	0	0	2	0
17	香川 朱瑛瑠	DNP	0					
18	中出 優来	DNP	0					
HC	高橋 和也							
合計			23	2	7	3	33	12

出場 ×:スターター /:途中出場 DNP:出場なし  
 得点 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー

【戦評】

札幌1位の東月寒、同5位の札幌清田との準決勝。  
 1Q.スターティングメンバーは札幌東月寒#4#5#6#7#8、札幌清田#4#5#6#7#9。東月寒はハーフコートマンツ、清田はオールコートマンツでスタート。東月寒はカッティングからインサイドを狙い、清田はドライブから活路を見出そうとするもお互いにシュートが決まらず、ミスが続く。清田#9の3Pに対し、東月寒#8も3Pで返すも、東月寒#6の3P、#4のバスケットカウントで9-5。対する清田も#15のドライブで返し9-7で東月寒の2点リードで1Q終了。

2Q.東月寒#4#5#6#7#8、清田#4#5#6#7#9。高さで勝る東月寒はインサイドで得点を重ねる。清田はドライブで得点を狙うがミスが続き、16-9で清田たまたまタイムアウト。しかし流れは変わらず、東月寒のポストプレー、ドライブが効果的に決まり、24-10とリードを広げ、前半終了。

3Q.東月寒#5#6#7#8、清田#4#5#6#7#9でスタート。東月寒のドライブから#6の3P、#4の3Pでリードを広げる。清田は果敢にドライブを狙うが、東月寒のディフェンスに阻まれ単発に終わってしまう。開始2分で30-10で清田タイムアウト。トランジションからのノーマークシュート、ドリブルスクリーンからのドライブで得点を重ねる清田はオールコートマンツで相手のミスを誘い、点数を伸ばす。対する東月寒も激しいオールコートマンツで清田のミスを誘い、得点を重ねる。清田は、終盤に#15の3Pで返すものの、東月寒が冷静に得点を重ね、40-19で3Q終了。

4Q.清田は、東月寒はピック&ロールプレーや、ハイローで確実に得点を重ねる。清田はチームディフェンスで対応しようとするが、ファウルがかさんでしまう。4Q残り4分で48-19で清田タイムアウト。しかし、東月寒のポスト、ドライブから3Pとバランスのとれたオフェンスをとめることができず、リードは広がり、56-23で試合終了。インサイドに対しチームで守ろうとする清田であったが、効果的なオフェンスで得点を伸ばした東月寒が決勝進出を果たした。